

岡山県南部に広がる干拓地や、干拓地でなくとも池沼、谷などを埋め立てた人工地盤では、建物の傾斜や基礎のひび割れなどさまざまなトラブルの原因となる地盤沈下が発生したり、建物に深刻なダメージを与える液状化が起こったりする

RES-P工法
木質杭工法
コンクリート杭工法
鋼管杭工法
セメント改良工法
スリーエスG工法
スーパージオ工法



は工法取得 自社の開発 認証 軟弱地盤対策技術で貢献

恐れがあります。

中四国最大の地盤の専門技術会社である岩水開発株式会社（岡山市南区福吉町）では、年間約9千件の地盤調査と、同約4600件の地盤改良工事によって得られた長年の実績データに基づき、地盤沈下や液状化による被害の低減のためのさまざまな解決策を提案・実施しています。

【スーパージオ工法】

建築予定地の土を樹脂製の軽量ブロックに置き換え、地盤が受ける重量負担を軽減して建物の沈下を防ぐ工法です。軟弱地盤対策のほか、液状化対策工法・減震工法としても効果を発揮します。

【セメント改良工法】

土にセメントを混合して攪拌すると、土の粒子同士の結合力が増し大きな強度が得られます。軟弱地盤の深さが地表2層くらいまでであれば板状の、さらに深くまで軟弱な地盤が分布していれば柱状の地盤改良体によって建物を支える工法です。

【スリーエスG工法】

セメント改良工法の一つ

で、柱状の地盤改良体を築造する方法。同社が独自開発した技術で、工法の技術性能について厳しい審査を経て公的な認証を受けています。従来の手法に比べさらに高品質の施工が可能。9700件を超える施工実績があり、類似工法の中で全国トップクラスの件数です。

【鋼管杭工法】

工場で製造された鋼管を地中に埋設し、建物を支える工法です。狭い土地などさまざまな現場条件に対応しやすいのが特徴です。

【コンクリート杭工法】

工場で製造されたコンクリート柱を地中に埋設するか、地盤を掘削して掘削孔に鉄筋コンクリートを築造し、建物を支える工法です。しばしば高層建築物に用いられます。

【木質杭工法】

特殊な加工を施して耐久性を向上させた木材を地中に埋設し、建物を支える工法です。鉄やコンクリートに替わる材料として注目されています。

【RES-P工法】

細径のパイプを弱い地盤に貫入し、地盤とパイプの複合作用で地盤を強くして沈下を防ぐ工法です。狭い土地でも対応可能です。